

日夕警報時報

編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 警報時報社
發行所 警報時報社
一部金貳圓 一ヶ月金貳圓
廣告料 一ヶ月金貳圓
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

國民精神作興

勤勉奉公の實を擧げよ

七日から 十三日迄 平市の實施要項をまゝ

國民精神作興に關する詔書喚發十五周年を迎へ、長期建設下に於ける國民の精神的團結を昂揚し、必勝の信念を堅持、以て國家總力戦に對處すべき國民の旺盛なる精神力を作興する爲め七日から十三日まで、國民精神作興週間を設けられたが、平市では期間中左の要項を實施して強化徹底を圖るべく、三萬市民に協力を求めることに成つた

徒弟の夜間學校

工業學校より一足お先に 鐵工組合で近く開設

市立工業學校建設問題が調査委員に依つて具体的に調査を進められ漸く軌道に乗る期待をかけるに及ぶ。市内の機械工業發達に對處すべく、市立工業學校より一足お先に平鐵工機械工業組合が有能職工養成のため今月中旬から徒弟の夜間學校を開設することに決定準備を進めてゐる

入營兵歡送會

廿一日公會堂で 平市本年度入營兵の奉告祭は二十一日午前九時から縣社子會堂で執行、同十時から公會堂で歡送會を開催する、會費五十錢

郷軍特別進級

湯本立花上等兵、湯本町在郷軍人分會役員歩兵上等兵立花潔氏は分會事業に盡精の功勞により明治節の佳節を前に特別進級の光榮に浴した

橋本次席出席

(既報) 組合例では組合員の徒弟を義務的に入學せしむる方針であるが、徒弟数は百名を越へると

德富蘇峯翁來平延期

東日、大毎社社徳富蘇峯翁は四名は昨日の佳節に日の丸勳章を授けられ、五日午後一時から市公持参で赤井嶽藥師に登山、出征會堂で開催される蘇峯會平支部行員ならびに皇軍の武運長久を發願するに當り、一時半から開か

銀行團員祈願

廿一日、二日、三日、四日、五日、六日、七日、八日、九日、十日、十一日、十二日、十三日、十四日、十五日、十六日、十七日、十八日、十九日、二十日、二十一日、二十二日、二十三日、二十四日、二十五日、二十六日、二十七日、二十八日、二十九日、三十日、三十一日、一月一日、一月二日、一月三日、一月四日、一月五日、一月六日、一月七日、一月八日、一月九日、一月十日、一月十一日、一月十二日、一月十三日、一月十四日、一月十五日、一月十六日、一月十七日、一月十八日、一月十九日、一月二十日、一月二十一日、一月二十二日、一月二十三日、一月二十四日、一月二十五日、一月二十六日、一月二十七日、一月二十八日、一月二十九日、一月三十日、一月三十一日、二月一日、二月二日、二月三日、二月四日、二月五日、二月六日、二月七日、二月八日、二月九日、二月十日、二月十一日、二月十二日、二月十三日、二月十四日、二月十五日、二月十六日、二月十七日、二月十八日、二月十九日、二月二十日、二月二十一日、二月二十二日、二月二十三日、二月二十四日、二月二十五日、二月二十六日、二月二十七日、二月二十八日、二月二十九日、二月三十日、三月一日、三月二日、三月三日、三月四日、三月五日、三月六日、三月七日、三月八日、三月九日、三月十日、三月十一日、三月十二日、三月十三日、三月十四日、三月十五日、三月十六日、三月十七日、三月十八日、三月十九日、三月二十日、三月二十一日、三月二十二日、三月二十三日、三月二十四日、三月二十五日、三月二十六日、三月二十七日、三月二十八日、三月二十九日、三月三十日、三月三十一日、四月一日、四月二日、四月三日、四月四日、四月五日、四月六日、四月七日、四月八日、四月九日、四月十日、四月十一日、四月十二日、四月十三日、四月十四日、四月十五日、四月十六日、四月十七日、四月十八日、四月十九日、四月二十日、四月二十一日、四月二十二日、四月二十三日、四月二十四日、四月二十五日、四月二十六日、四月二十七日、四月二十八日、四月二十九日、四月三十日、五月一日、五月二日、五月三日、五月四日、五月五日、五月六日、五月七日、五月八日、五月九日、五月十日、五月十一日、五月十二日、五月十三日、五月十四日、五月十五日、五月十六日、五月十七日、五月十八日、五月十九日、五月二十日、五月二十一日、五月二十二日、五月二十三日、五月二十四日、五月二十五日、五月二十六日、五月二十七日、五月二十八日、五月二十九日、五月三十日、六月一日、六月二日、六月三日、六月四日、六月五日、六月六日、六月七日、六月八日、六月九日、六月十日、六月十一日、六月十二日、六月十三日、六月十四日、六月十五日、六月十六日、六月十七日、六月十八日、六月十九日、六月二十日、六月二十一日、六月二十二日、六月二十三日、六月二十四日、六月二十五日、六月二十六日、六月二十七日、六月二十八日、六月二十九日、六月三十日、七月一日、七月二日、七月三日、七月四日、七月五日、七月六日、七月七日、七月八日、七月九日、七月十日、七月十一日、七月十二日、七月十三日、七月十四日、七月十五日、七月十六日、七月十七日、七月十八日、七月十九日、七月二十日、七月二十一日、七月二十二日、七月二十三日、七月二十四日、七月二十五日、七月二十六日、七月二十七日、七月二十八日、七月二十九日、七月三十日、八月一日、八月二日、八月三日、八月四日、八月五日、八月六日、八月七日、八月八日、八月九日、八月十日、八月十一日、八月十二日、八月十三日、八月十四日、八月十五日、八月十六日、八月十七日、八月十八日、八月十九日、八月二十日、八月二十一日、八月二十二日、八月二十三日、八月二十四日、八月二十五日、八月二十六日、八月二十七日、八月二十八日、八月二十九日、八月三十日、九月一日、九月二日、九月三日、九月四日、九月五日、九月六日、九月七日、九月八日、九月九日、九月十日、九月十一日、九月十二日、九月十三日、九月十四日、九月十五日、九月十六日、九月十七日、九月十八日、九月十九日、九月二十日、九月二十一日、九月二十二日、九月二十三日、九月二十四日、九月二十五日、九月二十六日、九月二十七日、九月二十八日、九月二十九日、九月三十日、十月一日、十月二日、十月三日、十月四日、十月五日、十月六日、十月七日、十月八日、十月九日、十月十日、十月十一日、十月十二日、十月十三日、十月十四日、十月十五日、十月十六日、十月十七日、十月十八日、十月十九日、十月二十日、十月二十一日、十月二十二日、十月二十三日、十月二十四日、十月二十五日、十月二十六日、十月二十七日、十月二十八日、十月二十九日、十月三十日、十一月一日、十一月二日、十一月三日、十一月四日、十一月五日、十一月六日、十一月七日、十一月八日、十一月九日、十一月十日、十一月十一日、十一月十二日、十一月十三日、十一月十四日、十一月十五日、十一月十六日、十一月十七日、十一月十八日、十一月十九日、十一月二十日、十一月二十一日、十一月二十二日、十一月二十三日、十一月二十四日、十一月二十五日、十一月二十六日、十一月二十七日、十一月二十八日、十一月二十九日、十一月三十日、十二月一日、十二月二日、十二月三日、十二月四日、十二月五日、十二月六日、十二月七日、十二月八日、十二月九日、十二月十日、十二月十一日、十二月十二日、十二月十三日、十二月十四日、十二月十五日、十二月十六日、十二月十七日、十二月十八日、十二月十九日、十二月二十日、十二月二十一日、十二月二十二日、十二月二十三日、十二月二十四日、十二月二十五日、十二月二十六日、十二月二十七日、十二月二十八日、十二月二十九日、十二月三十日、一月一日、一月二日、一月三日、一月四日、一月五日、一月六日、一月七日、一月八日、一月九日、一月十日、一月十一日、一月十二日、一月十三日、一月十四日、一月十五日、一月十六日、一月十七日、一月十八日、一月十九日、一月二十日、一月二十一日、一月二十二日、一月二十三日、一月二十四日、一月二十五日、一月二十六日、一月二十七日、一月二十八日、一月二十九日、一月三十日、二月一日、二月二日、二月三日、二月四日、二月五日、二月六日、二月七日、二月八日、二月九日、二月十日、二月十一日、二月十二日、二月十三日、二月十四日、二月十五日、二月十六日、二月十七日、二月十八日、二月十九日、二月二十日、二月二十一日、二月二十二日、二月二十三日、二月二十四日、二月二十五日、二月二十六日、二月二十七日、二月二十八日、二月二十九日、二月三十日、三月一日、三月二日、三月三日、三月四日、三月五日、三月六日、三月七日、三月八日、三月九日、三月十日、三月十一日、三月十二日、三月十三日、三月十四日、三月十五日、三月十六日、三月十七日、三月十八日、三月十九日、三月二十日、三月二十一日、三月二十二日、三月二十三日、三月二十四日、三月二十五日、三月二十六日、三月二十七日、三月二十八日、三月二十九日、三月三十日、四月一日、四月二日、四月三日、四月四日、四月五日、四月六日、四月七日、四月八日、四月九日、四月十日、四月十一日、四月十二日、四月十三日、四月十四日、四月十五日、四月十六日、四月十七日、四月十八日、四月十九日、四月二十日、四月二十一日、四月二十二日、四月二十三日、四月二十四日、四月二十五日、四月二十六日、四月二十七日、四月二十八日、四月二十九日、四月三十日、五月一日、五月二日、五月三日、五月四日、五月五日、五月六日、五月七日、五月八日、五月九日、五月十日、五月十一日、五月十二日、五月十三日、五月十四日、五月十五日、五月十六日、五月十七日、五月十八日、五月十九日、五月二十日、五月二十一日、五月二十二日、五月二十三日、五月二十四日、五月二十五日、五月二十六日、五月二十七日、五月二十八日、五月二十九日、五月三十日、六月一日、六月二日、六月三日、六月四日、六月五日、六月六日、六月七日、六月八日、六月九日、六月十日、六月十一日、六月十二日、六月十三日、六月十四日、六月十五日、六月十六日、六月十七日、六月十八日、六月十九日、六月二十日、六月二十一日、六月二十二日、六月二十三日、六月二十四日、六月二十五日、六月二十六日、六月二十七日、六月二十八日、六月二十九日、六月三十日、七月一日、七月二日、七月三日、七月四日、七月五日、七月六日、七月七日、七月八日、七月九日、七月十日、七月十一日、七月十二日、七月十三日、七月十四日、七月十五日、七月十六日、七月十七日、七月十八日、七月十九日、七月二十日、七月二十一日、七月二十二日、七月二十三日、七月二十四日、七月二十五日、七月二十六日、七月二十七日、七月二十八日、七月二十九日、七月三十日、八月一日、八月二日、八月三日、八月四日、八月五日、八月六日、八月七日、八月八日、八月九日、八月十日、八月十一日、八月十二日、八月十三日、八月十四日、八月十五日、八月十六日、八月十七日、八月十八日、八月十九日、八月二十日、八月二十一日、八月二十二日、八月二十三日、八月二十四日、八月二十五日、八月二十六日、八月二十七日、八月二十八日、八月二十九日、八月三十日、九月一日、九月二日、九月三日、九月四日、九月五日、九月六日、九月七日、九月八日、九月九日、九月十日、九月十一日、九月十二日、九月十三日、九月十四日、九月十五日、九月十六日、九月十七日、九月十八日、九月十九日、九月二十日、九月二十一日、九月二十二日、九月二十三日、九月二十四日、九月二十五日、九月二十六日、九月二十七日、九月二十八日、九月二十九日、九月三十日、十月一日、十月二日、十月三日、十月四日、十月五日、十月六日、十月七日、十月八日、十月九日、十月十日、十月十一日、十月十二日、十月十三日、十月十四日、十月十五日、十月十六日、十月十七日、十月十八日、十月十九日、十月二十日、十月二十一日、十月二十二日、十月二十三日、十月二十四日、十月二十五日、十月二十六日、十月二十七日、十月二十八日、十月二十九日、十月三十日、十一月一日、十一月二日、十一月三日、十一月四日、十一月五日、十一月六日、十一月七日、十一月八日、十一月九日、十一月十日、十一月十一日、十一月十二日、十一月十三日、十一月十四日、十一月十五日、十一月十六日、十一月十七日、十一月十八日、十一月十九日、十一月二十日、十一月二十一日、十一月二十二日、十一月二十三日、十一月二十四日、十一月二十五日、十一月二十六日、十一月二十七日、十一月二十八日、十一月二十九日、十一月三十日、十二月一日、十二月二日、十二月三日、十二月四日、十二月五日、十二月六日、十二月七日、十二月八日、十二月九日、十二月十日、十二月十一日、十二月十二日、十二月十三日、十二月十四日、十二月十五日、十二月十六日、十二月十七日、十二月十八日、十二月十九日、十二月二十日、十二月二十一日、十二月二十二日、十二月二十三日、十二月二十四日、十二月二十五日、十二月二十六日、十二月二十七日、十二月二十八日、十二月二十九日、十二月三十日

下平津優勝

市聯合青年團陸上競技 三日午前九時から警中グラウンドで舉行した、参加二十六團六百餘名の多數で國旗揚揚、皇居遙拜、國歌齊唱、次いで山崎聯合會長の挨拶があり、各々團體のリーダーの挨拶が折返り、歩留前分、仲町十二点、田戸七点で本戦、それ空襲だ、手榴弾投げ、クワック渡河、などど賑つた、入賞は左の通り

四倉体育大會

新町青年が優勝 第八回四倉町体育大會は三日明治節を前に午前八時半から小学校校庭で舉行された、定刻選手入

大野婦人會活躍

村國防婦人會では一月一回同村出身將兵の武運長久を祈願してゐるが、更に過般村有林の下刈りをした勞力費を應召兵の慰問品作製費に當てることに成つた

晴己會公演

晴己會公演 晴己會も始めは藝妓組合の温習會に賛助出演してゐたのだが、商賈人と素人が同じ舞臺で踊るのはどうかといふ意見から、獨立した公演會を催すことになり、その處女公演は昭和十一年三月、前に紹介した會員によつてマートモホールで開

獄舎暮し卅八年

鶏泥の老賊また刑務所へ 住所不定新潟縣中蒲原郡生れ押味策(六〇)の窃盜事件公判は四日前十時から平區で開廷大脇檢察の求刑通り中谷裁判長から懲役一ヶ年の判決宣讀しがあつた

貯蓄講演と映畫

十日公會堂で開く 市公便局では十日午後四時から市公會堂で貯蓄強國化講演と映畫會を開催する

書道展入賞

福島地方裁判所主催第三回書道展入賞者はこのほど發表、第一部十名、第二部二名のうち地方では左の通り入賞

洋傘を盗む

栃木縣藤岡町生れ窃盜前科六犯伊澤龜三郎(五〇)は平市内播種小路根本

晴己會

晴己會も始めは藝妓組合の温習會に賛助出演してゐたのだが、商賈人と素人が同じ舞臺で踊るのはどうかといふ意見から、獨立した公演會を催すことになり、その處女公演は昭和十一年三月、前に紹介した會員によつてマートモホールで開

八方散

飲んで 腫物の妙藥 治る 水野藥局 平市一、電六九九

中野齒科

平市田町電五〇九 院長 中野惠次

天氣豫報

今晚は南の風 明日は南の風天候次第に悪くなる

戦地通信

富金山攻撃の歌

市内紺屋町出身 圓谷定二君

夕陽没す富金山 涙とともに振り返る 亡き戦友の名を幾度か 先程よりも口走る

悪戦苦闘の血を染める 日露の爾靈山もかくあらん 攻める日毎に屍積む 一夫萬夫に當る峻険の 險壁も固きトチカノ

○隊長や○隊長 勇先駆けて華と散る 散る散る大和の櫻花 吹く山風や情も無し 進めよ進め最後まで

進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで

進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで

進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで

進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで

進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで

進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで

進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで

進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで

進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで 進めよ進め最後まで

釣通信

仁井田のボラ 三日はベチ(およぎ)が 手に入らずゴカイで北 前に出漁したが、減水 遅く水の澄み切った故か殆ん ど當りなく、午前中わづかに八 寸物一本をあげたのみ、附近に いた二人の釣士も一本死あけた 皮肉にもこの日東京からベチを 取り寄せて頑張った三人の釣士 は午前中一本もあげなかつた、 午後から雨になつたので中止し て釣箱へ戻つたが、三時すぎ雨 中たぐひ入頭張つてゐたオヨギ 持参の釣士に先づ當りはじめ備 中三十分位の間に十四、五本を あげ、それまで晴雨で降り支度 をしてゐた釣士、小屋前がら上 づつて来た四、五名などで合計三 十本位のボラがあつた (S生)

釣通信：投稿歓迎 與されてゐないが、規程第五 條に於て「左記五項目を實踐 すべし」と委員の職能を明示 してゐる

一、縣地方物價委員会に於 て最高販賣價格の決定あり たるときは警察署の指示を 受け便宜の方法に依り速に 當業者へ周知徹底を圖る事

二、隨時當業者の店舖に臨 み正札の貼付其他價格表 の履行並に標準最高價格 の實行を確保し暴利行為の 有無に付監視指導すること

三、警察官吏の指示を受け 當業者に對し關係法令の趣 旨徹底を圖ること

四、統制法令の遵守履行に 背くものあるときは其の事 實を警察官吏に申告する事

五、警察官の物價取締りに 際し其の指示に従ひ聯絡す ること

第一項、第三項、第五項は當 然行ふべき事柄であるが第二 項目「暴利行為の監視指導」 の字句と第四項目の「法令の 遵守履行に背くもの」は其の事 實を警察官に申告すること」 の字句は一般當業者に長慮心 を抱かせ、或は委員をして 逆用せしめる危険性は無いが、 勿論委員任命に當つて當 高は人格と素質を精密に調査 し、斯る背徳者の無いことを 信するものであるが念には念 を入れ、警察官は委員の行動 に誤りの無いやうに指導 することが最要である

御知らせ

今般松ヶ岡公園「尼子亭」を引受け割烹 御旅館を經營する事になりました、一流 の料理人を聘し時節柄格安に皆々様の御口に 召すやう精々努力致します。 〆座敷も奇麗に致しました。秋の眺 望絶佳御來遊を御待ち致します。 ☆：御家族連御歡迎申し上げます ☆：ササビをさして早朝から薬湯の 設備があります

平市・松ヶ岡公園内 割烹 御旅館 尼子亭 青柳テール 電話二三〇番

魚清なべ料理

鳥なべ・もりなべ・よせなべ・ねぎなべ かきなべ・はもなべ・あんなべ・その他 出前持・炊事婦人用 電話六三三番

魚清食堂

出前持・炊事婦人用 電話六三三番

出前持・炊事婦人用 電話六三三番

出前持・炊事婦人用 電話六三三番

出前持・炊事婦人用 電話六三三番

出前持・炊事婦人用 電話六三三番

出前持・炊事婦人用 電話六三三番

仙の乾やなぎ 其他鯉節、鯉鹽辛、いか鹽辛、鱈の子 平市 土橋 仙鈴藏魚店 電話六六二番

温かい飲物 軽い御食事 始めました。 独特なコーヒー.....10 マルサ ランチ.....35 統後に誇る實價 第一主義の御奉仕 平・二丁目 マルサ 電・374

吸入用酸素 純度99% モノサシ ハカリ マス 秤ノ取緒・鍍糸・修覆致シマス 体温器 寒暖計 關内藥局 電話四〇番

上原家政婦會 平市紺屋町十一 會主産婆 上原通子 産婆看護婦有資格者ニシテ最モ熟練ナル者ヲ 一般家政婦トシテ派出致シマス

婦人科 醫學博士 五十嵐雄二 平市新川町(電話三六九番) 入院隨時

根本産科醫院 平市南町 根本莊次郎 根本貞雄 電話三四番 入院隨時

内臓外科 北川外科 醫學博士 北川芳夫 平市新川町(電話四六四)

太鼓 各種 神社佛閣用太鼓 武徳道場用太鼓 歡送迎音樂隊樂器(タナベ製品) カタログ進呈 平市六町目 佐藤太鼓樂器店 電話四八三

野澤武藏 物價統制の完壁を期し併せて 違反者を防止する目的のもと に、物價統制指導委員組織が 設けられ、平市内の各業者 から代表者四十名が選任され ることになった、これ等の委 員は物價統制に關する非常管 理諸法令を自ら研究すると同 時に、各業者に指導徹底せし め、違法者を防止、國策遂行 に協力せしめんとする經濟警 察官の補助機關である

委員は警察署長の囑託に成り 經濟警察上の相談役乃至は仲 介者であるから職權は勿論附